

令和 8 年度グリーン水素等の国際サプライチェーン構築に向けた共同検討事業にの公募に係る質問及び回答

No.	項目	質問内容	回答
1	公募要領 1ページ(4)	事業費上限として示されている60,000千円は消費税抜の金額と考えて相違ないでしょうか。	共同検討事業の公募採択になるため、公募要領に記載のとおり、消費税等の間接経費は対象外です。
2	公募要領 4ページ(1)	令和 7 年度の「グリーン水素等の国際サプライチェーン共同検討事業」での調査実績をベース”との記載がございますが、前年度調査のデータについて公募中に何らかの形で開示頂けないでしょうか。	令和 7 年度事業における調査については、日本企業が関係するグリーン水素等の製造プロジェクトの中で、実現可能性の高いものを抽出し、調査いたしました。昨年度のデータについては、「第25回 H2 & FC EXPO 春」東京都ブースにて、昨年度採択事業者が調査内容のプレゼンテーションを実施した際の資料が以下URLにて公表されておりますので、そちらをご参照ください。 https://www.tokyo-h2-navi.metro.tokyo.lg.jp/torikumi/event/h2-fc_expo2026 また、採択事業者に対し、必要に応じて都が保有する情報を提供します。
3	公募要領 7ページ(1)	RFNBOとの記載がありますが、水素のGHG排出量の算定方法論としてISO19870も整備される中で、あえてRFNBOと規定されている背景等があれば、御教示頂きたく存じます。	ISO19870は、計算方法を定めているものと理解しています。その考え方のもと、具体的な規制値を定めているのがRFNBOと認識していますので、本事業では、RFNBOを基準として整理を行うこととしています。
4	公募要領 11ページ表4行目と12ページ(3)、 13ページ (2)	提案書の提出期限について、p.11の公募スケジュールでは「令和8年9月14日（月曜日）午後2時まで」と記載されている一方、p.12やP.13では「令和8年9月16日（水曜日）午後5時まで」と記載されています。正式な提出期限および提出時刻は、どちらでしょうか。	ご指摘のとおり、公募要領内で提案書提出期限の記載に相違があります。正式な提出期限は令和 8 年 9 月14日（月曜日）午後 2 時までとさせていただきます。
5	公募要領 11ページ(2)	現状想定されているイベントや回数の現時点の想定をご教示いただけないでしょうか。	イベント等での説明を2回程度想定しております。
6	公募要領 12ページ 1行目	プレゼンテーションでも提案書を使用する形となりますでしょうか。提案書はワード形式、プレゼンテーションはppt形式で別途用意は許容されるでしょうか。	提案書はワード形式、プレゼンテーションはppt形式で別途用意いただいて構いません。
7	公募要領 13ページ(2)提出書類	A4用紙15ページ以内とされていますが、それ以外で補足資料等の添付は審査に含んで頂く事は可能でしょうか。	審査対象となる提案内容は、公募要領に定める事業者提案書（A4用紙15ページ以内）に記載された内容とし、それ以外の補足資料等は審査に含まれません。
8	公募要領 14ページ 4行目	「「3 実施内容」を基に、これまでの実施状況」との記載について、これまでの実施状況とは何を想定されているでしょうか。	水素、アンモニア、メタノール等のクリーンエネルギーのサプライチェーンやCI値認証・表示等、今回の実施内容に関する調査実績のご記載を想定しています。
9	公募要領 15ページ 1行目	総合的に評価すると記載されておりますが、技術点と価格点の内訳や審査に際しての点数配分については大まかにでもご教示頂けないでしょうか。	点数配分及び採点方法については公表しておりません。